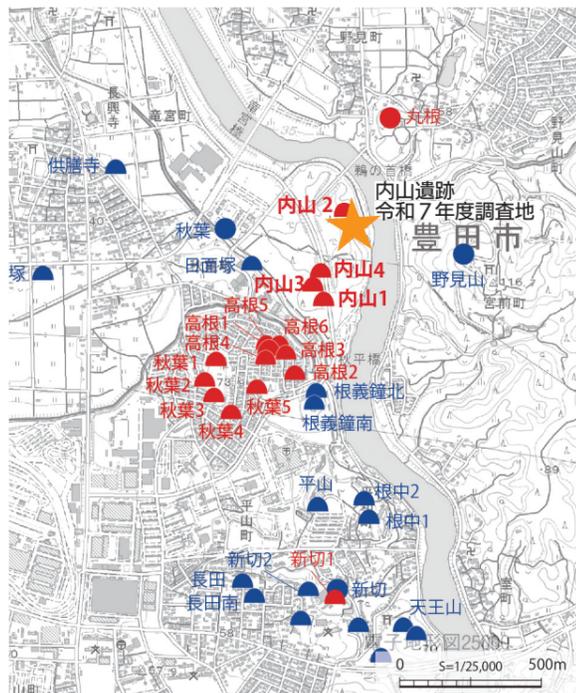


内山遺跡・令和7年度発掘調査区の周辺の古墳

内山遺跡の立地する挙母盆地では、古墳時代後期（6～7世紀頃）になると、円墳からなる群集墳が多数築造されるようになります。周辺の古墳の調査成果と、今回の発掘調査の成果を比較してみましょう。



内山遺跡周辺の古墳（豊田市 2015 を改変）

高根古墳群

高根山の山頂付近から南斜面に分布する、6基の古墳からなる古墳群です。うち3基（1・3・4号墳）は発掘調査が実施され、6世紀中葉～7世紀に利用されたことが明らかとなりました。1号墳は無袖形石室を、3・4号墳は擬似両袖形石室を採用しています。



高根古墳群・1号墳（森 2015 より）
4.4×1.1mを測る、「無袖形石室」。開口部は西にあります。

秋葉古墳群

挙母盆地の南の、秋葉山の山頂及び南斜面に分布する5基の古墳です。現在は滅失しています。発掘調査が行われた1号墳は直径17mの円墳で、6世紀後半～7世紀初頭に利用されたことが明らかとなっています。



秋葉古墳群・1号墳（森 2015 より）
4.4×1.4mを測る「無袖形石室」です。開口部は西にあります。

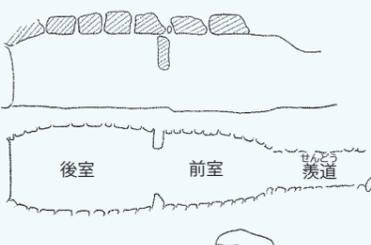
参考資料

森泰通 2015 「挙母地区の古墳」『新修豊田市史資料編 考古II 弥生・古墳』
森泰通 2020 「古墳を築いた時代」『新修豊田市史通史編原始』

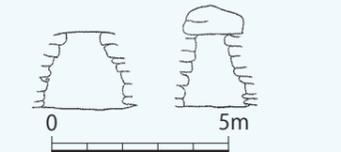
内山古墳群

挙母盆地の丘陵上の斜面上にある古墳群で、現在、4基（内山1～4号墳）が遺跡として登録されています。今回の発掘調査で新たに見つかった古墳群も、内山古墳群の一連のものと考えられます。内山1号墳は6世紀後半の直径約20mの円墳です。前室が崩れていますが、全長9m以上の、複室構造を持つ石室であることが確認されています。当時の有力者の古墳であるとされます。

内山1号墳の北側にある内山3号墳・4号墳は、現在は滅失および確認できない状態となっています。



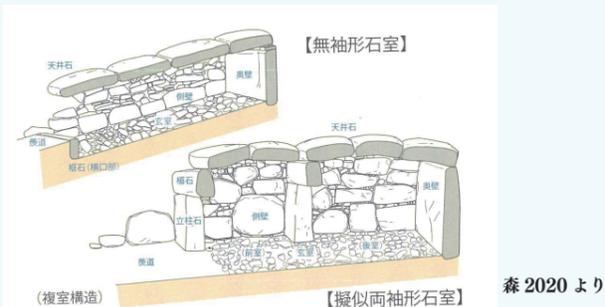
内山1号墳石室（森 2015 より）
現在は天井石が崩れ、羨道や前室が露出した状態です。



内山1号墳石室図（1976年当時）
羨道が前室と後室に分かれる「複室構造」をもち、さらに前室と後室の間を区切る「擬似両袖形石室」を採用しています。開口部は南にあります。

豊田市の古墳の横穴式石室の特徴

古墳時代後期（6～7世紀）は全国的に横穴式石室を持つ古墳が築造されるようになりますが、豊田市のある西三河地域は「無袖形石室」と「擬似両袖形石室」という2つの特徴的な石室を採用します。古墳の築造時期に、西三河地域特有の社会構造があったようです。



無袖形石室は、遺体を納める玄室と、玄室と出入口（開口部）をつなぐ道が区切られていない石室です。

擬似両袖形石室は、玄室と羨道の間を左右から出っ張る石（立柱石）によって区切られた石室です。

うちやま

豊田市秋葉町

内山遺跡 地元説明会資料

開催日 令和8年2月28日（土）午前11時～

今回の発掘調査は 国土交通省中部地方整備局・豊橋河川事務所による矢作川鵜の首地区水位低下対策事業に伴う事前調査として、愛知県民文化局より委託を受けたものです。今年度の調査は、令和7年12月末から3月にかけて実施しています。



内山遺跡出土 石製管玉

遺跡は、挙母盆地の南、「鵜の首」と呼ばれる矢作川がすぼまり狭くなった地点の西岸丘陵上にあります。標高は、調査区中央で60mほどです。この場所は内山古墳群の範囲内で、特に以前から内山2号墳があるとされていたところでした。このような場所では、墳丘などが削られて、現状では確認の難しい古墳（滅失古墳）が存在していた可能性が高いため、「内山遺跡」として対象の丘陵部を調査することとなりました。令和7年度の調査区は、対象エリア中央の1,631㎡の範囲です。

調査の結果、溝および裾部分により存在が確認された古墳が2基（古墳1・古墳2）、さらに石室が確認された古墳が1基（古墳3）の、計3基を確認することができました。出土遺物や石室の形態から、古墳1が6世紀後半、古墳2が7世紀前半、古墳3が7世紀後半以降（終末期）と考えられます。古墳群は、丘陵尾根頂点に沿って順次築かれたようです。出土遺物には、須恵器のほか、鉄器や石製管玉があります。

今回の調査では、古墳時代以外の遺構・遺物も見つかっています。

縄文～弥生時代のものとして、土器・石器が調査区全体で確認されています。

江戸時代のものとしては、宅地・耕作地跡が見つかり、宅地跡周辺では陶器片のほか、農具など野鍛冶をした際に出た不純物である鉄滓が多数出土しています。また、斜面を切り開いて平坦な場所を造成した跡も確認されています。



調査主体 公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方802の24
電話 (0567)67-4161【管理課】4163【調査課】

調査支援 株式会社アコード

愛知県埋蔵文化財センター 公式HP <http://www.maibun.com> Facebook <https://www.facebook.com/maibunaichi>
Instagram <https://www.instagram.com/aichimaibun/> X https://x.com/aichi_maibun



古墳1 墳丘の様子(北より)



古墳2 裾部の様子(南より)



古墳4?須恵器出土(北より)

遺跡地図掲載
古墳位置

調査センター
試掘位置

調査センター
確認情報

内山4号墳



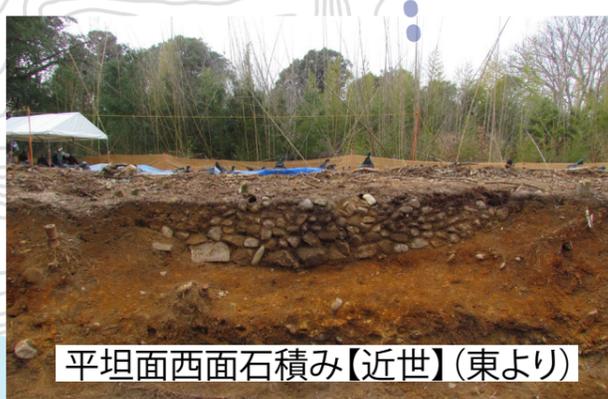
古墳1 墳丘部位置での
落ち込み検出(南より)



裾部遺物・礫出土状況(西より)



裾部遺物・礫出土状況(北東より)



平坦面西面石積み【近世】(東より)



管玉の出土

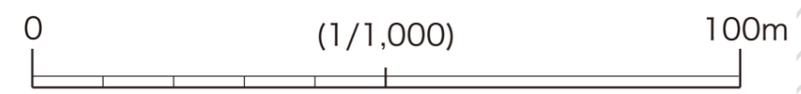


古墳3 石室検出状況(東より)



凸状のマウンド【近世】(西より)

内山遺跡 令和7年度調査区位置図



矢

作

川